



百重塔下は修禪の寺に

る雲の陣もブラス大將は来

申さう、若くは

施養院へて書可き家

うり来りては

目下我國の状勢は

節う全部へ

誰に

子

一

百

携



據 (was-sas) 之 國 (sa)

之 國 (sa) 之 國 (sa)

昭 (sa) 之 國 (sa) 之 國 (sa)

昭 (sa) 之 國 (sa) 之 國 (sa)

昭 (sa) 之 國 (sa) 之 國 (sa)

昭 (sa) 之 國 (sa) 之 國 (sa)

昭 (sa) 之 國 (sa) 之 國 (sa)

昭 (sa) 之 國 (sa) 之 國 (sa)

昭 (sa) 之 國 (sa) 之 國 (sa)

昭 (sa) 之 國 (sa) 之 國 (sa)

昭 (sa) 之 國 (sa) 之 國 (sa)

昭 (sa) 之 國 (sa) 之 國 (sa)

昭 (sa) 之 國 (sa) 之 國 (sa)

敬世車、車轉世、轉世

也、也、也、也、也、也

不、不、不、不、不、不

也、也、也、也、也、也

也、也、也、也、也、也

也、也、也、也、也、也

也、也、也、也、也、也

也、也、也、也、也、也

也、也、也、也、也、也

也、也、也、也、也、也

也、也、也、也、也、也

大原信三

救世軍慈善病院



東京市京橋區銀座二丁目十一番地
電話新橋七百四拾九番

救世軍本營
少將トマス・エスチル

救世軍慈善病院設立趣意書

世に不幸薄命の人多しと雖も、未だ貧病者の如く、可憐なるはあらず。彼等は必らずしも惰民にあらず、然れども勤勞に堪ふるの健康を有せざる者あり。必らずしも人の慈恵に頼ることを冀ふ者にあらず、然れども自活自営の人

救世軍慈善病院設立趣意書

世に不幸薄命の人多しと雖も、未だ貧病者の如く可憐者もあらず。彼等は必らずしも情民にあらず、然るをも勤勞に堪ふる健康を有せざる者あり。必らずしも人の慈恵に頼ることを冀ふ者にあらず、然るをも自活自営の人たるべき、能力を缺く者あり。彼等は自ら疾苦に泣くのみならず、其家族を困乏に陥ゆ。自ら窮巷に苦死するのみならず、長く煩累を其子孫に遺さんとする者あり。彼等の中にも多少の半当だにせば、速かに癒て日常の生業

東京市京橋區銀座二丁目十一番地 救世軍本營
電話新橋七四拾九番 少將トマス、エヌチル

に就くを得べき者あり。或は不起の大患に罹り乍ら更に医薬の助を乞ふも能はざる者あり。此の如き最も不幸にして最も薄命なる人々、同情し、此が救護の方法を講ぶるは誠に博愛慈仁の人の職分なりと信ず。

去年ブラス大將の日本に來朝するや、彼は英國の一貴女の委託に可る金拾五萬圓を基礎とし、別に日本の慈善家より金五萬圓の義捐を仰ぎ、合計金貳拾萬圓を投じて、我が貧病者の為に、慈善病院を設立せんことを提供せられたり。

我日本に於て、從來此種の病院數個の存在するありと雖も、

然も貧病者救護の需用は彼が如く大に此に應ずるの設備は此の如く小なるを我思へど、ブラス大將の提供にかゝる此慈善病院の計畫は、最も社會の要求に適する事業なりと謂はざる可らず。

殊に彼の計畫せる慈善病院は、其特色として、二醫院を貧民窟に設け、醫師、看護婦、産婆等を派出し

去年ブラス大將の日本に來朝するや、彼は英國の「貴女」の委託に可る金拾五萬圓を基礎とし、別に日本の慈善家より金五萬圓の義捐を仰ぎ、合計金貳拾萬圓を投じて、我が貧病者の為に、慈善病院を設立せんことを提供せられたり。

我日本に於て、從來此種の病院數個の存在するありと雖も、然も貧病者救護の需用は彼が如く大に此に應ずるの設備は此の如く小なるを我思へず、ブラス大將の提供にかゝる此慈善病院の計畫は、最も社會の要求に適する事業なりと謂はざる可らず。

殊に彼の計畫せる慈善病院は、其特色として「醫院を貧民窟に設け、醫師、看護婦、産婆等を派出し、貧病者の家庭に就て其疾苦を撫恤せしむる」は、必ずしも貧病者救護のみに一生面を向くものありと思惟す。願はば、天下博愛慈仁の淑女及紳士諸君、幸に此舉を賛し、不幸なる貧病者救恤の爲め、應分の助力を與へられんことを懇望の至に堪ず。



東京市京橋區銀座二丁目十一番地 救世軍本營
電話新橋 七百四拾九番 少將トマス、ニヌチル

東京銀座二丁目十番地救世軍本營
救世軍司令部 少將トマス、ニヌチル
同 書記長 中佐山室軍平

救世軍慈善病院

(一) 其目的

救世軍慈善病院の目的は、醫藥の助けなき貧病者を救護するを以て目的とす。

(二) 其方針

救世軍司令部官少將トマス・マクナル
同 書記長菅中佐山室軍平

救世軍慈善病院

(一) 其目的

救世軍慈善病院の目的は、醫藥の助けなき貧病者を救護するを以て目的とす。

(二) 其方針

右の目的を達せん為め、左の方針に由て其事業を經營するものとす。

一、先づ東京に一箇の中央病院を設け、極めて低廉に外来及入院患者を治療し、又は無料にて極

貧の病者を救恤する事

二、中央病院に附属して、看護婦及産婆養成所を設け、貧病者救護の為に働くべき看護婦、産婆を養成する事

三、貧民窟に医院を設け、貧病者を診察し、其相談相手となり、又看護婦、産婆が貧民間に出張する為めの屯所とする事

四、逐次東京以外の大都會に分院を設け、其事業を擴張する事

(三) 其資金

此事業の資金は、ブリス大將の手を経て寄贈せらるる、金拾五萬圓の外、別に日本の慈善有志家より金五萬圓を仰ぎ、總計金貳拾萬圓を以て之に充んことを期す。其支途は金拾萬圓を基本金として保存し、残り金拾萬圓を以て起業費に充つるものとす。

(四) 事業の着手



東京市京橋區銀座二丁目十一番地 救世軍本部 營業
電話新橋 七四四九番 少將トマス・エスチル

三、貧民窟に医院を設け、貧病者を診察し、其相談相手となり、又看護婦、産婆の貧民間に出張する為めの屯所とする事
四、逐次東京以外の大都會に分院を設け、其事業を擴張する事

(三) 其資金

此事業の資金は、ブリス大將の手を経て寄贈せらる、金拾五萬圓の外、別に日本の慈善有志家より金五萬圓を仰ぎ、總計金貳拾萬圓を以て之に充んとを期す。其支途は金拾萬圓を基本金として保存し、残り金拾萬圓を以て起業費に充つるものとす。

(四) 事業の着手

日本に於る慈善の有志家の義捐申込金貳萬五千圓に達するを待ち、直ちに東京に於る中央病院の設立に着手するものとす。



東京市京橋區銀座二丁目十一番地 救世軍本營
電話新橋 七百四拾九番 少將トマス、エスチル

寄附金申込書

一金也

右は救世軍慈善病院の舉を賛し寄附可致候也

寄附金申込書

一金 也

右は救世軍慈善病院の奉を賛し
寄附可致候也

明治四十一年 月 日

(住所)

(氏名)



東京市京橋區銀座二丁目十一番地 救世軍本營
電話新橋七百四拾九番 少將トマス、ニスチル

東京銀座三丁目救世軍泉宮

少將トマス、ニスチル殿

(附言)月賦、若くは年賦、其他一定の時期、
滞拂込被下度、其旨印記入被下度、

救世軍慈善病院を賛成する
趣意

ブラス大将来朝の節、英国一婦人の寄贈にかゝる
金拾五萬圓を基礎とし、別に我日本の有志より
金五萬圓を得、合計金貳拾萬を用ひて、我が負

(附言)月賦、若くは年賦、其他一定の時期、
滞拂に被下し、尚其旨滞記入被下度い

救世軍慈善病院を賛成する 趣意

ブリス大将来朝の節、英国一婦人の寄贈にかゝる
金拾五萬圓を基礎とし、別に我日本の有志より
金五萬圓を得、合計金貳拾萬を用ひて、我が貧
病者の爲め、病院、醫院、看護婦及産婆會等
を設置するの舉は、我等が誠意を以て賛成する所也
依て之を天下博愛慈仁の人に推薦し、其賛助を
勧誘する者なり。



東京市京橋區銀座二丁目十一番地
電話新橋七四四拾九番

救

世

軍

本

營

少將トマス、エスチル